

# 調査は一年かかる

## 森課長、あす現地へ

海火知  
水質調

経済企画庁調整局の森調査課長ら  
同庁の不知火海水質調査団一行五  
人は一日下り特急「はやぶさ」で  
来熊、県庁で記者団と会いつぎの  
ように語った。

こんどの調査は水質保全法の適  
用を前提とした三十五年度から  
の本格調査の下検分で、企画庁  
では三十五年度に不知火海を調  
査水域として取り上げる方針で  
ある。新日鐵水俣工場が良心的

な浄化装置をつくったことは感  
謝しているが、過去の工場廃棄  
物がいまだのような影響をもっ  
ているか、浄化装置の管理はど  
うかなどの問題もあり、浄化装  
置ができたからといって調査が  
不要になったわけではない。三  
十五年度の調査では海水とドベ  
の分析、潮流に乗った毒物の分  
布なども調べる。ドベや海水の  
採取地点は現地をみたうえで決

めるが、これらの調査は二年ぐ  
らいかかり、水産庁や厚生省な  
どの研究と歩調を合わせて行な  
う。経済企画庁の調査予算は三  
十四年度が百八十八万円、三十  
五年度が五百七十七万円であ  
る。

なお一行は三百現地に向かい、十  
日ごろ帰京する予定。